

# 『大学の内部質保証システムの構築』 — 北九州市立大学の事例 —

平成25年度 第1回高等教育改革フォーラム

平成25年7月30日  
北九州市立大学  
学長 近藤 倫明

## 内 容

---

### I 北九州市立大学の自己点検・評価

- 内部質保証の年度サイクルと法人評価
- 学長と学部等との意見交換

### II 中期計画におけるPDCA

- 6年間のサイクルと認証評価

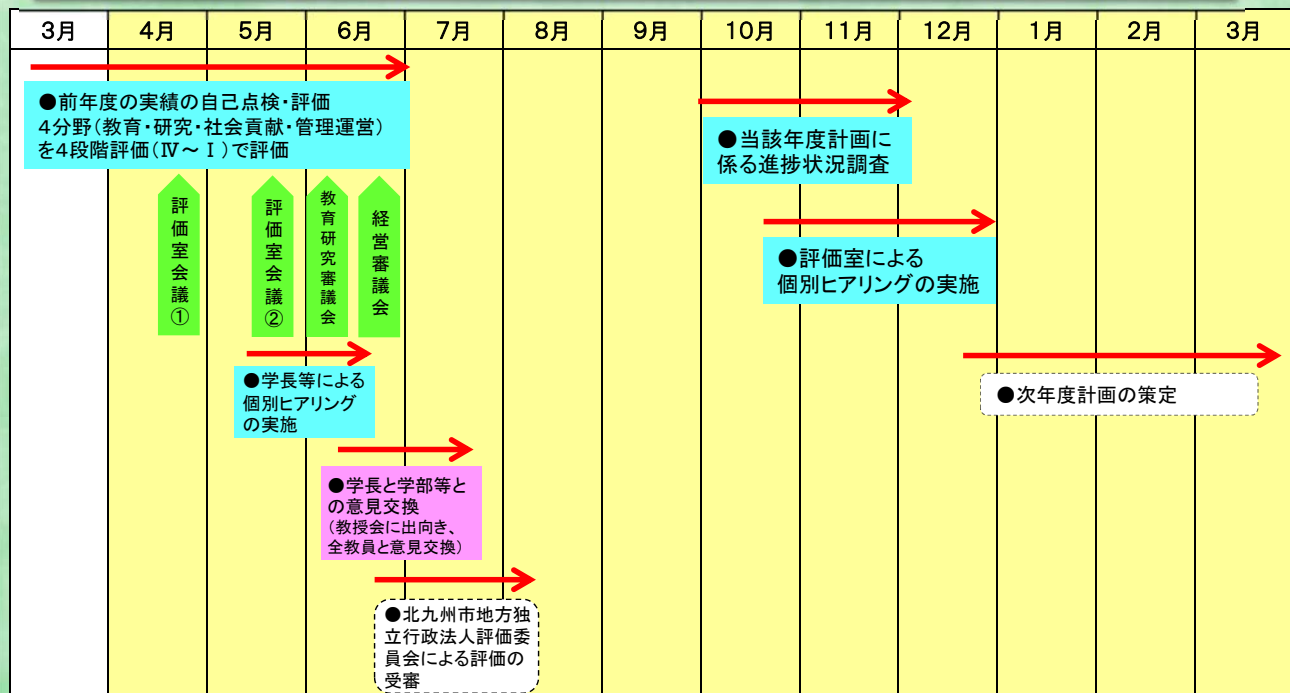
### III 教育における内部質保証の現状

- 新カリキュラム(平成25年度～)と3つのポリシー(4年間のサイクル)
- 今後の課題

### IV 地域創生学群における先行事例

# I-(1) 北九州市立大学の自己点検・評価 ～内部質保証の年度サイクルと法人評価～

評価室(各部局長等20名で構成。室長は副学長。)において自己点検・評価を実施。  
→事務局:経営企画課



# I-(2) 北九州市立大学の自己点検・評価 ～学長と学部等との意見交換～

## ◆学長と学部等(教員)との意見交換◆

出席者:学長、3副学長、事務局長(事務局:経営企画課)

時 期:例年6月～8月に開催される各学部等の教授会開催日

内 容:①学長からの報告

(大学を取り巻く動向と大学運営、年度計画における自己点検・評価結果)

②教員との意見交換

## 【平成25年度意見交換スケジュール】

| 6月26日           |             | 7月10日                                                               |             |             | 7月17日       |             |
|-----------------|-------------|---------------------------------------------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 13:00～14:00     | 15:30～16:30 | 13:00～14:00                                                         | 14:30～15:30 | 16:00～17:00 | 13:00～14:00 | 16:00～17:00 |
| 基盤教育C<br>地域創生学群 | 法学部         | 社会システム研究科<br>マネジメント研究科<br>都市政策研究所<br>アジア文化社会研究C<br>国際教育交流C<br>情報総合C | 文学部         | 経済学部        | 外国語学部       | 国際環境工学部     |

# I-(3) 北九州市立大学の自己点検・評価 ～学長と学部等との意見交換～

## 自己点検・評価における進行状況

| 分野   | 第2期中期計画 | 平成24年度に実施した<br>中期計画の項目別進行状況 |               |               |             |             |
|------|---------|-----------------------------|---------------|---------------|-------------|-------------|
|      |         |                             | IV            | III           | II          | I           |
| 教育   | 32      | 30                          | 6             | 21            | 3           | 0           |
| 研究   | 8       | 8                           | 0             | 8             | 0           | 0           |
| 社会貢献 | 10      | 10                          | 2             | 8             | 0           | 0           |
| 管理運営 | 20      | 20                          | 2             | 17            | 1           | 0           |
| 計    | 70      | 68<br>(100.0%)              | 10<br>(14.7%) | 54<br>(79.4%) | 4<br>(5.9%) | 0<br>(0.0%) |

<年度計画の進行状況>

- IV 年度計画を上回って実施している。
- III 年度計画を順調に実施している。
- II 年度計画を十分に実施できていない。
- I 年度計画を実施していない。

自己点検・評価の  
内容を各教員に  
フィードバック！

## 進行状況がIV及びIIの項目

| 中期No. | 項目の内容（IV及びIIの理由等）                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------|
| 5     | 文科省補助事業「グローバル人材育成推進事業」に採択され、新規プログラムを策定                    |
| 8     | 「基盤C」副専攻環境ESDプログラムを策定し、「北九州学（環境都市としての北九州）」を先行的に開講         |
| 14    | 「入試広報C」戦略的な入試広報活動により2年連続で志願者数が5000人超                      |
| 19    | 「BS」遼寧大学新華国際商学院、東北大学工商管理学院、香港大学華人経営研究Cと学術交流協定締結           |
| 25    | 「BS」積極的な入試広報活動によりBSの入学志願者及び入学者増加定員充足率0.97(29/30人)         |
| 29    | 「地共C/学群」 「まちなかESDセンターを核とした実践的人材育成」が文科省の「大学間連携共同教育推進事業」に採択 |
| 41    | 「地共C/学群」 地域共生教育Cの登録数が1000人を超え、まなびとESDステーションにおける地域実践活動を開始  |
| 46    | 文科省補助事業「大学間連携共同教育推進事業」に申請した3件全てが採択                        |
| 57    | 「全学」外部資金 年間5億円以上の目標に対し、約7.7億円獲得                           |
| 61    | 「評価室」各種データに基づき「Annual Report2011」を作成し、経営審議会等で配布           |
| 4-1   | 「外・英米学科」目標（卒業時TOEIC730点以上50%）が未達成 到達者割合：41%               |
| 16    | 「社シス」文科省からの指摘等により、博士前期課程の再編を見送り                           |
| 28    | 「情報総合C」電子シラバスと連動した両キャンパス共通履修システムの平成25年度運用開始は困難            |
| 63    | 「認知度向上P」広報戦略の策定、広報活動の展開には至らず                              |

## II 中期計画におけるPDCA ～6年間のサイクルと認証評価～

### 第2期中期計画（6年間）の推進イメージ

平成23年度～28年度 中期計画全70項目

|      | 第1段階      |           | 第2段階              |           | 第3段階               |                                    |
|------|-----------|-----------|-------------------|-----------|--------------------|------------------------------------|
|      | 1年度目（H23） | 2年度目（H24） | 3年度目（H25）         | 4年度目（H26） | 5年度目（H27）          | 6年度目（H28）                          |
| 中期計画 | Plan Do   |           | Do Check          |           | Check Act (Action) |                                    |
|      |           |           |                   |           | 目標策定・中期計画策定作業      |                                    |
| 外部評価 |           |           | 認証評価受審に係る自己評価書の作成 |           | 認証評価受審             | 次期（第3期）<br>中期目標・<br>中期計画策定<br>評価結果 |

計画(Plan)----目標・計画の設定。  
 実行(Do)-----計画の実施。  
 評価(Check)---結果の評価・分析。  
 改善(Act、Action)--プロセスの改善・見直し。



### Ⅲ-(1) 教育における内部質保証の現状 ～新カリキュラム(平成25年度～)と3つのポリシー(4年間のサイクル)～

#### 中期目標

学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針の  
3つの方針を明確にし、教育の質の向上に不断に取り組む

中期目標・計画に  
明示

#### 中期計画

- ① 教育目的、学位授与方針(DP)の策定・発信
- ② 教育目的、学位授与方針の達成に向けた教育課程編成・実施方針(CP)の策定
- ③ 体系性・順次性を重視した教育課程の改善
- ④ 入学者受入れ方針(AP)の明確化・発信

学長をトップとした時限的な推進組織を設置。  
平成25年度からの新カリキュラム及び3つのポリシーの策定作業を実施。

#### 学部等教育改善委員会

#### 学長

#### 副学長

#### ワーキンググループ

委員会が提示する  
方針案の策定等  
(学長指名11名)

- ・学部・学群長
- ・基盤教育センター長
- ・入試広報センター長
- ・教務部長
- ・学生部長
- ・キャリアセンター長
- ・図書館長
- ・情報総合センター長

- **期限の明示** 平成25年度新カリキュラムスタート
- **改革方針の提示**
  - ・3つの方針の策定方針、手順
  - ・DPを起点とした科目見直し  
(削減と強化、必須科目化、カリキュラムマップ、カリキュラムツリー)
  - ・教育責任(非常勤削減)

5学部(14学科)  
1学群(1学類)  
基盤教育センター

#### カリキュラム・ コーディネーター

- ・学科等の推進担当者
- ・20名

#### 事務局:経営企画課

双方の調整、学科等作業サポート

すべての学科等に配置

### Ⅲ-(2) 教育における内部質保証の現状 ～新カリキュラム(平成25年度～)と3つのポリシー(4年間のサイクル)～

#### カリキュラム改革の概要(平成25年度スタート)

- **方向性** ▶ 教育の質の向上を目的とした質的改革
- **強化** ▶ DPに基づく体系性・順次性の確立 (必須科目化、カリキュラムマップ、カリキュラムツリー)  
▶ キャリア教育の充実(科目の新設、選択必修科目化) ※北方キャンパス  
▶ 英語教育の充実(必修単位数の増加、科目の新設等) ※ひびきのキャンパス  
▶ 震災を踏まえた安全・防災関連科目の充実(科目の新設等) ※建築デザイン学科
- **削減・新設** ▶ 科目の廃止(約170科目)  
▶ 必修科目化(26科目)  
▶ 科目の新設(約140科目)  
▶ 配当年次の変更(約180科目) } **体系性・順次性・スリム化を  
考慮した科目の見直し**
- **教育責任** ▶ 非常勤科目の削減 (約30科目)

シラバスへの反映  
授業科目のナンバリング

#### 教育目的、DP・CP・APの策定・発信

#### ●平成23年度、平成24年度で策定完了→公表・発信

- ▶ 教育目的
- ▶ 学位授与方針(DP)
- ▶ 教育課程編成・実施方針(CP)
- ▶ 入学者受入れ方針(AP)

大学ウェブサイト (<http://www.kitakyu-u.ac.jp>) や  
大学案内、入学者選抜要項などで学内外  
に発信

### Ⅲ-(3) 教育における内部質保証の現状 ～今後の課題～

#### 学習成果の検証

学習成果を検証するためのデータを収集・分析  
 ◆入学後の成績調査 ◆授業アンケート  
 ◆卒業生アンケート ◆資格取得状況  
 ◆学生意見聴取 ◆就職先の意見聴取 … など

各学部等にフィードバックし、教育内容等の改善に活用！

平成23～25年度

#### ICT化・教育情報システムの開発

- ▶2つのキャンパス共通のシステムの導入（ポータルサイト、電子シラバス管理、履修登録システム等）
- ▶学内に散在する学生の成績、入試・就職といった各種情報を一元化
- ▶部局等が必要とする情報を提供するための「教育情報システム」を開発

#### 教育開発支援室

#### 教育開発支援室 情報総合センター

#### 教育情報等の蓄積・共有

#### 大学総合情報データベース

大学が自己点検・評価を行うための各種エビデンスを一元的に集約。中期計画・年度計画の進捗管理機能も併せ持つシステム。エビデンスを蓄積し、認証評価の際にも活用。

#### Annual Reportの作成

蓄積したデータを基に、年度ごとの実績を「Annual Report」としてとりまとめ、経営審議会委員等関係者に配付。教職員ポータルサイトにも掲載し、情報を共有。



掲載項目  
 I 大学基本情報  
 II 教職員  
 III 学生  
 IV 入学支援  
 V 就職支援  
 VI 研究  
 VII 国際交流  
 VIII 社会貢献  
 IX 財務

### Ⅳ-(1) 地域創生学群における先行事例

#### 地域創生学群

【平成21年度開設】

幅広い教養と実践力を持った専門性を備え、地域に関する理論と現場理解により地域社会をマネジメントし、地域の再生と創造に貢献できる人材の養成を目的とする。

「地域マネジメントコース」、「地域福祉コース」、「地域ボランティア養成コース」の3コースがあり、現場実習や4年一環ゼミなど特色ある教育を展開。

#### 地域創生力の設定

○成長を確認するために「地域創生力」を設定。在学中の諸活動を通じてレベル向上させることを学生に課し、ポートフォリオで管理。

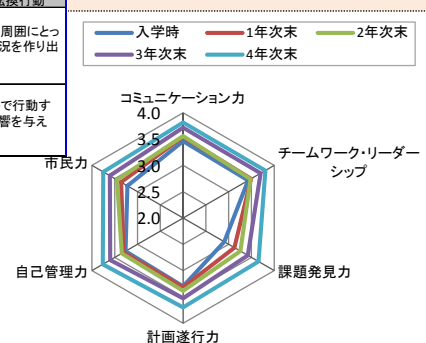
＜地域創生力＞ ①コミュニケーション力 ②チームワーク・リーダーシップ ③課題発見力 ④計画遂行力 ⑤自己管理能力 ⑥市民力

#### 地域創生力レベルの測定

○学生が入学時及び各年度末に自らの行動を自己評価し、地域創生力の伸長度を測定。

| 基準<br>コン<br>ピテン<br>シーの<br>レベル | レベル1<br>受動行動                        | レベル2<br>通常行動                          | レベル3<br>能動行動                    | レベル4<br>創造行動                               | レベル5<br>パラダイム転換行動            |
|-------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------|
|                               | 部分的・断片的行動                           | やるべきことをやるべき時にやった行動                    | 明確な意図や判断に基づいた行動、明確な理由のもとに選択した行動 | 独自の効果的工夫を加えた行動、独自の行動、状況を変化させようと、打破しようという行動 | まったく新たな、周囲にとっても意味ある状況を作り出す行動 |
| 例                             | 目先のことだけする。好きなことだけする。できるだけ責任は持ちたくない。 | やりたくないことでも、誰かと約束したことはやる。最低限の役割は責任を持つ。 | 自分の意思で行動を開始し、最後まで遂行する。          | 学んだことに自ら工夫を加えて行動する。                        | 周囲を巻き込んで行動する。周囲に好影響を与える。     |

| 地域創生力          | 入学時  | 1年次末 | 2年次末 | 3年次末 | 4年次末 |
|----------------|------|------|------|------|------|
| コミュニケーション力     | 3.46 | 3.54 | 3.56 | 3.72 | 3.82 |
| チームワーク・リーダーシップ | 3.43 | 3.49 | 3.48 | 3.70 | 3.80 |
| 課題発見力          | 2.90 | 3.13 | 3.26 | 3.42 | 3.65 |
| 計画遂行力          | 3.30 | 3.32 | 3.38 | 3.53 | 3.70 |
| 自己管理能力         | 3.26 | 3.30 | 3.35 | 3.60 | 3.76 |
| 市民力            | 3.22 | 3.36 | 3.45 | 3.61 | 3.75 |

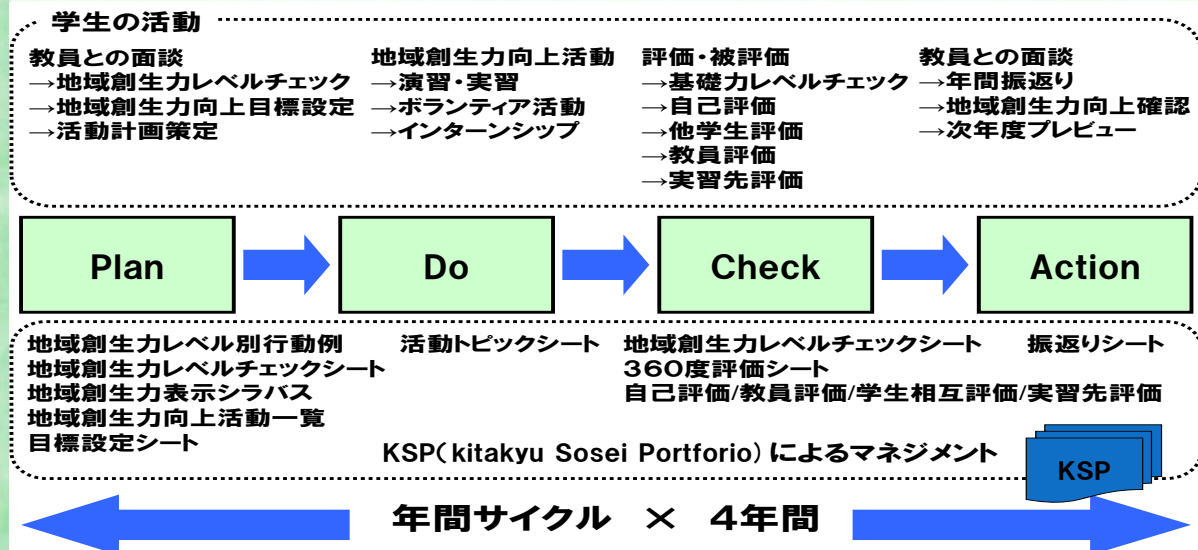




## IV-(2) 地域創生学群における先行事例

### ポートフォリオによるセルフマネジメント

○学生は地域創生力の涵養に向けて、講義や実習をはじめとした学生生活全体に対して目標設定および、振り返りを**ポートフォリオ**に記録する。  
また、**地域創生力アセスメントで自己評価**を行うとともに、伸ばしたい地域創生力をどのような機会を通じて、どのように行動して涵養するのかを記述していく。



第1期生(平成24年度卒業)…就職決定率100%

## まとめ

### ◆本学における内部質保証システム

『**自律した自らの意志と行動**で大学の**教育・研究・社会貢献・管理運営分野**の質を高める**持続可能な取組み**を支える**階層的仕組み**』

#### 階層的仕組み

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 学 長   | 中期計画 6年→認証評価<br>年度計画 1年→法人評価 |
| 学部・学科 | カリキュラム 4年→人材育成               |
| 教員個人  | シラバス、担当授業 1年→FD              |

